

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	126
------	-----

事業名	青少年の社会環境づくり事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課	問合せ先(電話番号)	2291

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑫子ども・若者を守る環境の整備					
事業内容	千葉県青少年健全育成条例等に基づき、青少年の健全育成を図るため、立入調査の実施や、啓発用物資の作成及び配布により、青少年に有害な環境の浄化に努める。									
当初予算額(千円)	H30年度	778	R元年度	768	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)	H30年度	436	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度	
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○							

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・青少年の健全育成を図るため、条例に基づき、携帯電話等販売店75件、書店等372件、インターネットカフェ18件、カラオケボックス58件等、計529件(うち331件は権限移譲市町実施分)の立入調査を行い、携帯電話事業者等の説明責任等の確認・指導、青少年の深夜入場禁止や有害図書等の区分陳列等の確認・指導等を行った。
 ・千葉県青少年健全育成条例に基づく立入調査に係る事務権限を移譲した4市町(千葉市・銚子市・富津市・大多喜町)により立入調査が行われた。
 ・SNS等を介しての自画撮り被害が増加していることから、中学生・高校生向けに配布する非行防止啓発パンフレットにおいて、自画撮り被害についての注意喚起を行った。

(2)事業の成果

・立入調査の実施により、事業者の条例遵守状況についての実態確認及び指導を行い、個々の店舗における千葉県青少年健全育成条例の規制事項の認識を高めるとともに、事務権限を移譲した市町による立入調査の実施により、地域における青少年健全育成の充実を図った。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・青少年がインターネットを利用することにより、様々なトラブルに巻き込まれるケースが増加していることから、インターネット上に氾濫する有害情報から青少年を守るための啓発をさらに進めるとともに、条例に基づく携帯電話等販売店への確認・指導のより一層の充実を図る必要がある。

○参考

関連指標	[有害環境の浄化] 千葉県青少年健全育成条例に基づく、立入調査の実施件数					目標	480件以上 継続
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	
	481件	545件	529件				

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	128
------	-----

事業名	地域防犯力の向上に関する交流大会等事業		
担当課・室・班名	くらし安全推進課	問合せ先(電話番号)	2333

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑫子ども・若者を守る環境の整備					
事業内容	地域の防犯力向上に大きな役割を担っている自主防犯団体の活動を継続、発展させていくため、防犯ボランティア団体の活動を支援する。									
当初予算額(千円)	H30年度	1,469	R元年度	1,469	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)		560								
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○							

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

<ul style="list-style-type: none"> ・地域防犯力の向上に関する交流大会の開催(10/31) ・ヤング防犯ボランティアへのパトロール資機材貸与(君津高校 ベスト・腕章各9貸与)
--

(2)事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う学生等のヤング防犯ボランティアへパトロール資機材を貸与した。また、地域防犯力の向上に関する交流大会を開催し、自主防犯活動の様々な課題について議論した。
--

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、自主防犯団体の問題点や活動の活性化策を話し合う「地域防犯力の向上に関する交流大会」の開催やヤング防犯ボランティアへのパトロール資機材の貸与を行い、自主防犯活動を支援する。

○参考

関連指標						目標	
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4	

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	133-1
------	-------

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	学校安全保健課	問合せ先(電話番号)	4091

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑫子ども・若者を守る環境の整備					
事業内容	「地域防犯研修会」の開催。県警や地元警察署、防犯団体と連携し、地域安全マップをはじめとする最新の防犯知識と技術を伝達する。									
当初予算額(千円)	H30年度	160	R元年度	160	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)	H30年度	57	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度	
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○							

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・「地域防犯研修会」を県内5か所、全ての教育事務所管内で実施した。各研修会では、学校関係者、スクールガード等が参加し、5会場で合計434名が参加した。

(2)事業の成果

・学校関係者及びスクールガード等の学校安全ボランティアを対象に「地域安全マップづくり」の実践をはじめとする防犯知識や技術の伝達、有識者による防犯教育やネット被害に関する講演、地元警察署の方々による地域防犯の状況説明及び学校・PTA・地域と連携した防犯教育の取組の実践発表等を行い、参加者の防犯活動に対する意欲の向上を図るとともに、防犯知識や技術の伝達ができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・「地域安全マップ」の作成をより推進するため、当該研修会のみならず、他の研修会等においても広く周知していく必要があり、令和元年度も、安全主任等地区別研究協議会や学校安全教室講習会において、「地域安全マップ」の作成及び活用についての周知を図っていく。また、学校安全教育推進委員を活用し、「地域安全マップ」等の作成に係る現状と課題について研究を進め、令和2年度の安全主任等地区別研究協議会において、発表する予定である。
 ・地域によっては、学校安全ボランティアの参加が少ない状況であり、今後は、より多くの学校安全ボランティア等地域の方に参加いただくよう、呼びかけていく。

○参考

関連指標	目標					
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	133-2
------	-------

事業名	ちばっ子安全・安心推進事業		
担当課・室・班名	警)生活安全総務課	問合せ先(電話番号)	043-201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑫子ども・若者を守る環境の整備						
事業内容	県警ホームページに掲載の「不審者情報マップ」を通じて不審者情報を提供している。										
当初予算額(千円)	H30年度	—	R元年度	—	R2年度		R3年度		R4年度		
決算額(千円)	H30年度	—	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

県警で認知した不審者情報の発生地区・概要等(行為者の検挙・警告状況を含む。)を県警ホームページ上で情報発信するとともに、メール投稿機能を活用した不審者情報の収集を実施した。
平成30年度中の不審者情報に関するメール投稿は、約250件であった。

(2)事業の成果

不審者情報や声掛け事案等の発生状況を発信することで防犯意識の向上が図られた。
また、メール投稿機能を活用して収集した地方住民からの不審者情報を、パトロールや防犯対策の警察活動に資することができた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

今後も、継続的に不審者情報の発信、収集を推進していく。
また、防犯講話・キャンペーン等を通じた、不審者情報マップ・メールの投稿機能の広報を実施して防犯意識の醸成に努める。

○参考

関連指標	目標					
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4

4 委員意見

5 担当課回答

--	--